

企画セッション

◆ 実質的なオープンイノベーションに適合的な知財部門のマインドセット ～脱・知財部～ ◆

【概要】

政府の知的財産戦略本部（本部長：安倍総理）の下に設置された検証・評価・企画委員会価値共創タスクフォースでは、本年6月に報告書「ワタシから始めるオープンイノベーション」を公表しました。本報告書では、オープンイノベーションの促進のためには、方法論の実践に加えて、取組む人や組織のマインドセットがオープンイノベーションに適合的であることや、個人の内発的動機の重要性を提言しています。また、オープンイノベーションに適合的な人材や組織へ変わっていくための気づきのツールとして診断リストを提供しています。

本セッションでは、最初に内閣府知的財産戦略推進事務局より価値共創タスクフォース報告書の概要をご紹介した後、価値共創タスクフォースでの議論に参加いただいた関係者をお招きし、伝統的な知財リスク最小化の取組中心の知財部門から、イノベーションをサポートしビジネスチャンスの最大化に貢献する知財部門へと変化していくためのマインドセット等についてお話しいただく座談会を開催します。座談会では、オープンイノベーション（価値共創）の場を主催しているAI研究者、イノベーションへの取組みを統括するチーフ・イノベーション・オフィサー（CINO）、ベンチャー企業等から支持を集めている企業の知財部長、オープンイノベーション部門のサポートをミッションとする知財部門のリーダーにご登壇いただき、登壇者自身の自己診断の結果や得られた気づき等を交えながら、オープンイノベーションにおける知財部門の役割や、その役割を担うために必要なマインドセット、マインドセットを変容させる上での解決すべき課題などをトピックとして取り上げる予定です。本ページの診断リストにご自身でも取組んでいただきながら本セッションにお越しいただければと存じます。

価値共創TF報告書 診断リスト（抜粋）〔◎実践している、○そう思う、△分からない、×そう思わない〕

診断項目		答
1	冒険しないことこそがリスクだと思う(経営)	
2	従来の事業とイノベーション事業とでは、異なるマインドが必要だと思う(経営)	
3	難しい方・周囲が支持しない方の選択肢でもやりたければ選ぶ(個人)	
4	今は理解されていない新たな価値を自分が社会に伝えたい(個人)	
5	多様な価値観が許容され、積極的に受け入れられている(組織・場)	
6	リスクをとって活動している人が尊敬される(組織・場)	
7	多少のリスクを取ってでも新しい価値創出に貢献したい(知財)	
8	OIの場では、知財についての考え方も少し変えなければと思う(知財)	
9	自ら資源を提供すれば他者の資源も得られやすくなると思う(知財)	
10	共創のパートナーとは対等の関係だと思う(知財)	

以上

企画セッション

◆ 実質的なオープンイノベーションに適合的な知財部門のマインドセット ～脱・知財部～ ◆

【講演者】

(敬称略)

川名 弘志 (かわな ひろし)

KDDI 株式会社 知的財産室長

1993年4月にKDDI株式会社に入社。2000年に知的財産室に所属し、渉外、権利化、戦略等の業務に従事。2006年に弁理士登録、2015年4月から現職。

前田 三奈 (まえだ みな)

株式会社日立製作所 知的財産本部 知財第三部 部長

2000年1月 株式会社日立製作所入社。権利化、戦略等の業務に従事後、デジタルイノベーションに伴う知財課題の検討と戦略策定・実行を担当中。2018年4月より現職。

本村 陽一 (もとむら よういち)

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 首席研究員
産総研人工知能技術コンソーシアム会長

1993年通産省電子技術総合研究所入所以来機械学習分野の研究に従事。2016年より現職。東工大特定教授、神戸大客員教授兼務。人工知能学会、サービス学会、行動計量学会理事を歴任。

横田 俊之 (よこた としゆき)

沖電気工業株式会社 執行役員 経営基盤本部長
Chief Innovation Officer (CINO)

2016年OKI入社。2017年からイノベーション責任者として、OKIのイノベーション・マネジメントシステム「Yume Pro」策定・導入・グループ展開を主導する。

杉本 敏彦 (すぎもと としひこ)

内閣府 知的財産戦略推進事務局 参事官補佐

【参考】

価値共創TF報告書 URL:

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kensho_hyoka_kikaku/2019/OPENINOV_TF/torimatome/siryoul.pdf